

EA115MM-43 (11ℓハンドスプレー[アセトン対応]) 取扱説明書

このたびは、当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
製品を安全にご使用頂く為にも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

Ver.1.1

●特長

- ・液漏れ防止トリガークリップシャットオフ及びロックオフ機能付。
真鍮製ノズルにより、偶発的な放電を防止。
- ・高濃度のアセトンで使用できるアセトン耐性シール及びガスケット付。
- ・調整可能なチップコーンノズル付。
- ・タンク内に目詰まり防止フィルター付

●仕様

- ・ポリエチレン製タンク
- ・ノズル長…483mm
- ・ノズル…真鍮製
- ・ホース長…1200mm
- ・タンク容量…11ℓ
- ・サイズ…222×210×708(H)mm
- ・重量…2.7kg

●各部名称



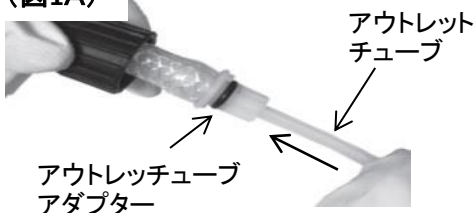
警告

- ・不適切な使用または指示に従わない場合、事故、怪我、故障を引き起こす可能性があります。
- ・この製品を安全に使用するには、すべての指示を読み、それに従ってください。
- ・暑い太陽の下で加圧噴霧器を放置しないで下さい。熱により圧力が上昇し、爆発する可能性があります。
- ・使用後、溶液をタンクに保管したり、放置したりしないで下さい。
- ・スプレー時は、常に保護めがね、手袋、長袖シャツ、長ズボン、足カバーを着用して下さい。
- ・スプレーに圧力をかけたまま、ポンプを取り外さないで下さい。
- ・ポンプ作業時は、ポンプ解除時などは、タンクの上に顔や体を置かないで下さい。
(ポンプや溶剤が顔にかかる危険があります。)
- ・取扱説明書の方法以外では噴霧器を加圧しないで下さい。この噴霧器を改造しないで下さい。
- ・部品はメーカーの純正部品のみと交換して下さい。
- ・アセトンは可燃性です。取扱には十分に気を付けてください。
この噴霧器は、訓練を受けた専門家のみを対象としています。
- ・小売業向けではありません。化学メーカーの指示を読み、従ってください。
- ・**本製品はアセトン専用です。アセトン以外の薬剤には使用しないでください。**

●使用方法

①ホースとタンクの接続

(図1A)



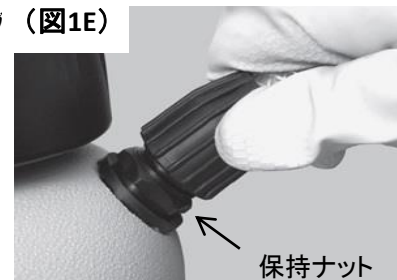
(図1B)



(図1C)



(図1D)



放出と組み立て

- ・白いアウトレッチューブがアウトレッチューブアダプターに取り付けられていることを確認します(図1A)。
- ・アウトレッチューブ部分をタンクアダプターに挿入する(図1B)。
- ・タンクアダプタ上のノッチとタブを揃え、アウトレッチューブアダプターをタンクアダプターにしっかりと挿入します(図1D)。
- ・保持ナットをタンクアダプターにしっかりと締めます(図1E)。

②使用前チェック

- 1) ホースナットの締め付けをチェックして、ホースがタンクに正しく取り付けられている事を確認します。
- 2) ホースの劣化、ひび割れ、損傷、または脆弱性を確認します。これらの状態のいずれかが見つかった場合は、使用前にホースを交換して下さい。メーカーの部品のみと交換して下さい。
- 3) ポンプを取り外し(充填加圧およびスプレーの手順を参照)、タンクの内部および外部を点検して、本体及び底部の劣化の兆候がないか確認します。劣化の兆候は、タンクが弱くなっている可能性がある事を示しており、圧力下で爆発的な破裂を引き起こす可能性があります。これらの兆候のいずれかが見つかった場合は、すぐにタンクを廃棄して交換して下さい。漏れなどを修正しようとししないで下さい。重大な傷害を引き起こす可能性があります。
- 4) 水のみを使用する以外は、充填、加圧、スプレーの指示に従って下さい。(プランジャーを10~20回ストロークして、漏れがないか検査します)。
- 5) 離れた場所で直接シャットオフし、詰まっていないことを確認して下さい。
- 6) このテストに合格した場合、圧力を解放し(圧力解放手順を参照)、タンクを空にして、充填、加圧、およびスプレーの手順に進みます。
- 7) ワンド、ノズル、継手を含むすべての金属部品の錆、腐食、孔食を確認します。これらの条件のいずれかが見つかった場合、使用する前に、部品をメーカーの部品と交換して下さい。

③充填

※充填前に使用する液体の注意書きをよく読み、準備して下さい。

- 1) ポンプハンドルを反時計回りに回して外します。
- 2) 液体をタンクに入れて下さい。タンクの外側の目盛(L/GAL)以上に入れしないで下さい。入れ過ぎると、適切なポンプ操作ができなくなります。
- 3) ポンプに汚れがついていない事を確認し、ポンプハンドルを戻し、時計回りに回し、しっかり締めます。

④加圧および噴霧



・ハンドルを時計方向に回して、締めます。ハンドルを押し下げ、1/4反時計方向に回し、解除します。



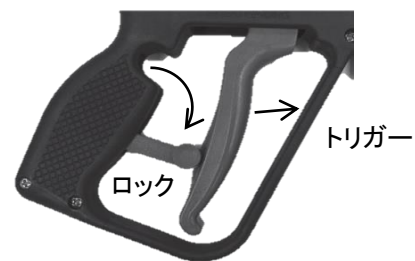
・抵抗を感じるまでポンプする。



・ハンドルを押し下げ、時計方向に、1/4回転させてロックし、スプレー開始。スプレー力を維持するために、必要に応じて再ポンプします。

⑤トリガーのロックと解除

安全ロックオフ機能(スプレーなし)の場合、トリガーを前方に押し、右図のようにロック機構をロックオフ位置まで回します。

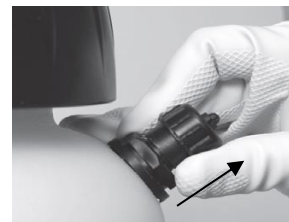


⑥圧力を解放する

- 1) 噴霧器には圧力開放/開放バルブが装備されています。圧力上昇を解除し、空気が完全に排出されるまでキャップを保持するか、空気が漏れる音が聞こえて、空気が完全に排出されるまでバルブを反時計回りにゆっくりと回して下さい。(右図)



リリースバルブ



注意: すべての空気が抜けるまで噴霧器から離れて下さい。

⑦ノズル用クリップ

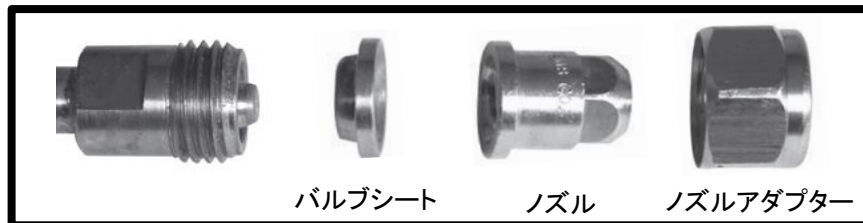
右図の様にノズルの太さに合うクリップを選んで下さい。



⑧手入れ、保管、メンテナンス

- 1) 水のみでタンクをすすぎ、一度タンクを空にし、再び水を補充します。
充填、加圧、スプレーの指示に従って下さい。但し、ポンプユニットは8～10ストロークのみです。
使用後は必ずワンドとノズルを水で十分に洗い流して下さい。
- 2) シャットオフを開き、水が排出アセンブリを流れるようにします。
- 3) 圧力を解放し(圧力解放の指示に従って下さい)、ポンプを取り外し、噴霧器を空にします。
- 4) 噴霧器タンクを逆さまにして、ポンプを取り外した状態で、乾燥した場所に保管します。
- 5) カバーの開口部からポンプロッドに10～12滴の軽油を落とし、定期的にオイルポンプを作動させて下さい。

ノズルの解除



・ノズルをシャットオフハンドル、または延長ノズルに取り付けます。ノズルアダプターを手で締め後、レンチで締めます。



注意 バルブシートの向きに注意して下さい。組立が間違っていると漏れます。



改造はしないでください。
・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
・ご使用者が怪我をする場合があります。
・作業工程に支障を来たす場合があります。

株式会社 エスコ
本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14
TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929

23.Aug.